

自治体間の広域連携を活用したシェアサイクルについて

自治体間の広域連携を活用したシェアサイクルについて、現時点での配備状況と利用実績等を取りまとめたので、以下のとおり報告する。

1 配備状況及び利用実績

- | | |
|------------------|-------------------------|
| (1) 登録者数 | 2, 373人(12月31日時点) |
| (2) サイクルポート設置箇所数 | 20箇所(3月1日時点) 詳細は別紙1のとおり |
| (3) データの集計期間 | 7月20日から12月31日まで |
| (4) 利用実績 | 別紙2のとおり |

2 アンケート調査の実施

- | | |
|-------------------|------------------|
| (1) アンケート対象者 | ドコモ・バイクシェアアプリ利用者 |
| (2) アンケート実施期間 | 2月5日から2月19日まで |
| (3) 回答数 | 585件(中野区在住 197件) |
| (4) アンケート調査結果(速報) | 別紙3のとおり |

3 令和3年度の実施概要

- (1) 令和2年度に実施したシェアサイクル事業の利用実績データやアンケート調査結果から、利用者属性や移動経路、各ポートの利用頻度等について分析し、シェアサイクル事業を拡大していく上での問題点、課題を整理する。また、シェアサイクル事業の規模拡大として、令和3年度は、サイクルポートを約10ポート、自転車を約100台、年度内に配備し、新たな利用実績データ等を確保していく。
- (2) シェアサイクル事業における利用実績やアンケート調査結果等のデータを分析し、令和3年度に実施する自転車利用総合計画の改定に向けた検討に活用する。

4 今後の予定

- | | |
|----------|----------------------------|
| 令和3年4月以降 | 令和2年度の利用実績の検証、課題整理 |
| 令和3年度内 | サイクルポートを約10ポート、自転車を約100台配備 |
| 令和4年度以降 | 令和3年度の事業結果を検証し継続・拡大を検討 |

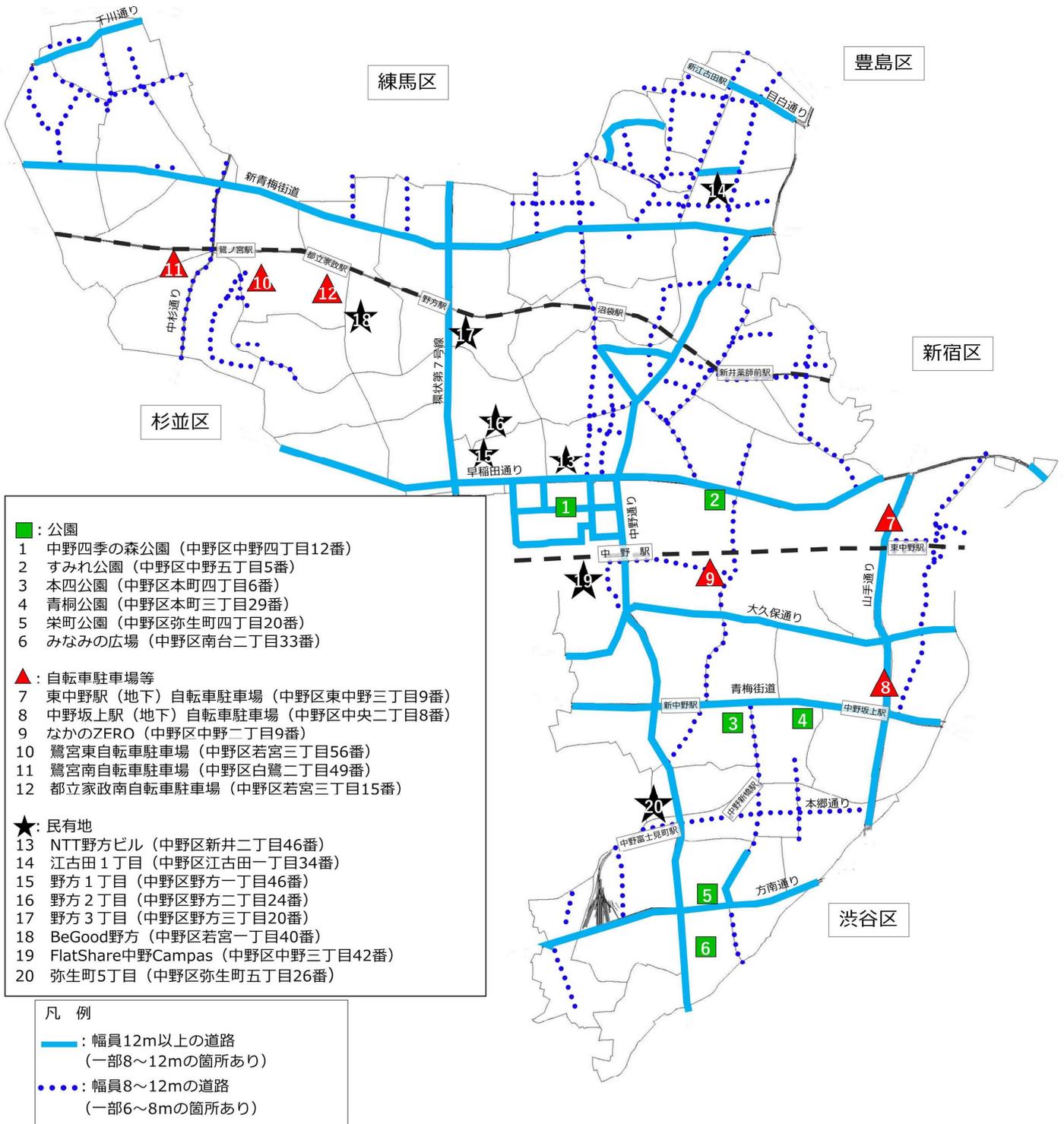
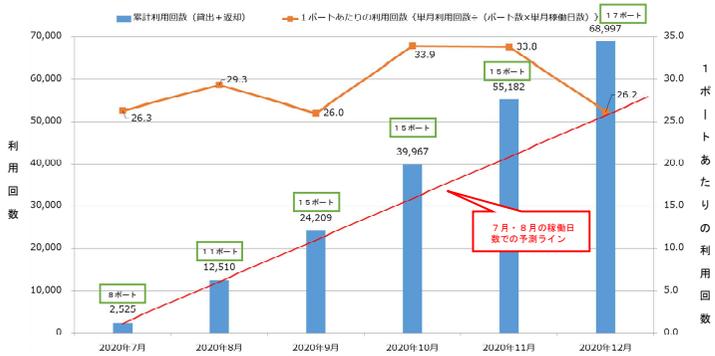


図 サイクルポート設置箇所(令和3年3月1日時点)

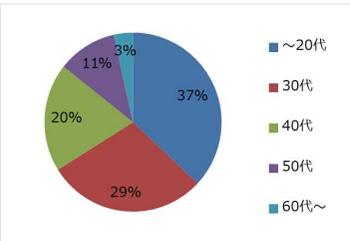
1. 利用回数推移



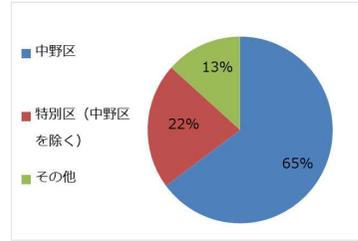
・8月末時点で区内11ポート。2020年12月末時点では17ポート。
 ・ポート数の増加等により、利用回数が増加している一方、季節要因等により、12月からの冬季期間は、広域連携全体で減少傾向にある。

2. 会員属性(年齢構成、住所)

【年齢構成】



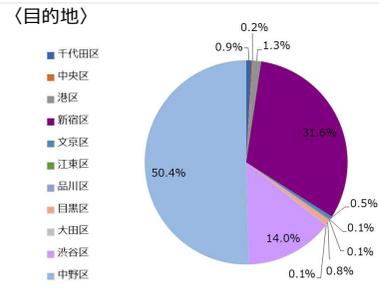
【住所】



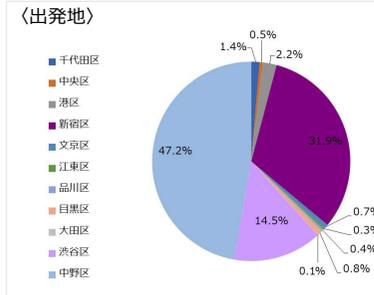
・39歳までの登録が半数以上を占めているが、幅広い年代が登録している。
 ・中野区民の登録数が大半を占めている。

3. 中野区ポートの目的地・出発地別利用回数割合

【貸出】

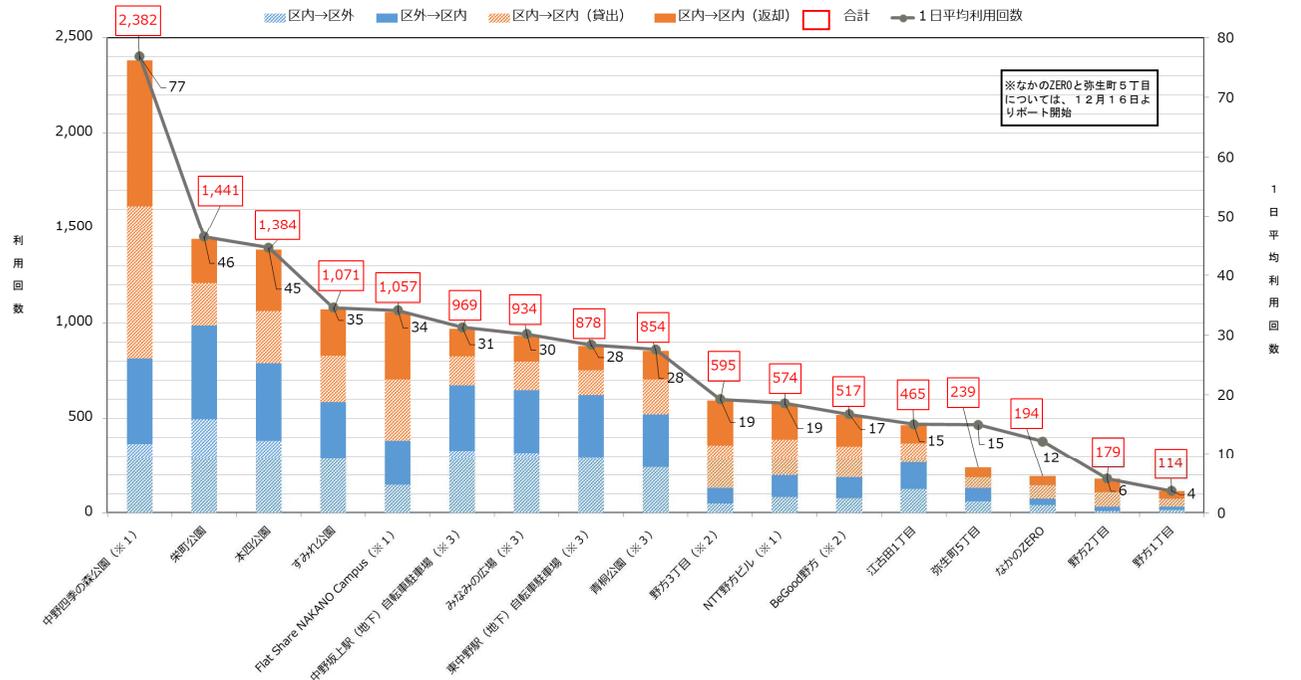


【返却】



・貸出、返却ともに、区内移動は全体の約5割となっており、新宿区及び渋谷区への区外移動が約4割を占めている。

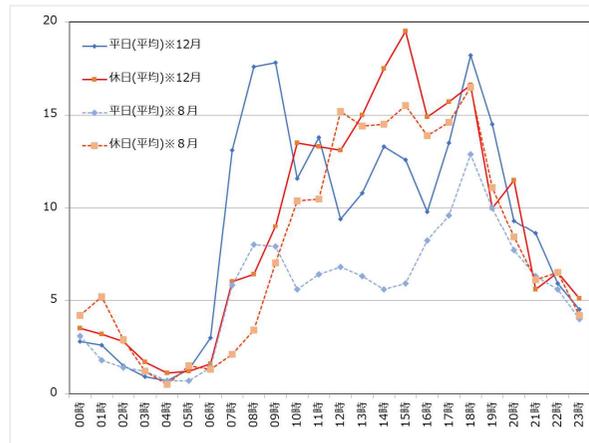
4. ポート別利用回数(12月単月)



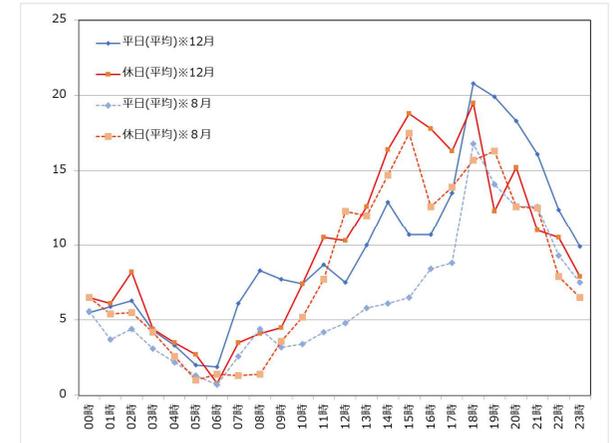
・中野区内ポート別の利用回数については、「中野四季の森公園」が一番多く、次いで「栄町公園」、「本四公園」が多く利用されている。
 ・区内から区外への流出割合より、区外から区内への流入割合の方が若干多い。
 ・中野駅周辺(※1)や西武新宿線沿線(※2)近くのポートについては、区内移動が多い。
 ・東京メトロや都営等の沿線(※3)近くのポートについては、区外移動が多い。

5. 時間帯別利用回数(1日平均)

【貸出】



【返却】



・貸出、返却ともに開始当初より利用回数が増加した一方、利用傾向は変わらず、通勤・通学時間帯の利用が多い。

アンケート調査結果（速報）

回答数（中野区在住：197件 全体：585件）

